

あなたの町の国有林

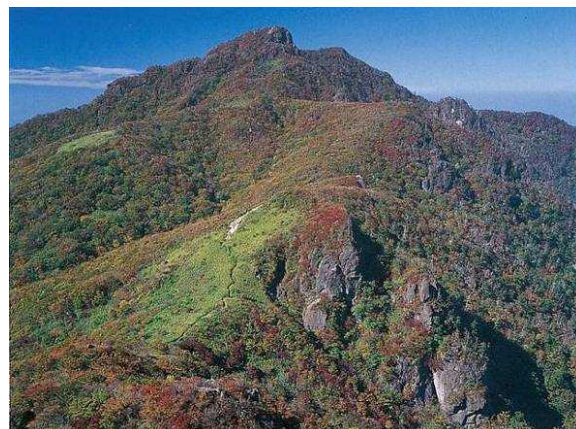
大分中部流域における森林管理署の取組



くじゅう連山



由布岳



祖母山（撮影：藤田晴一氏）



国民の森林・国有林

九州森林管理局
大分森林管理署

大分中部流域の 位置図

くじゅう連山の花々



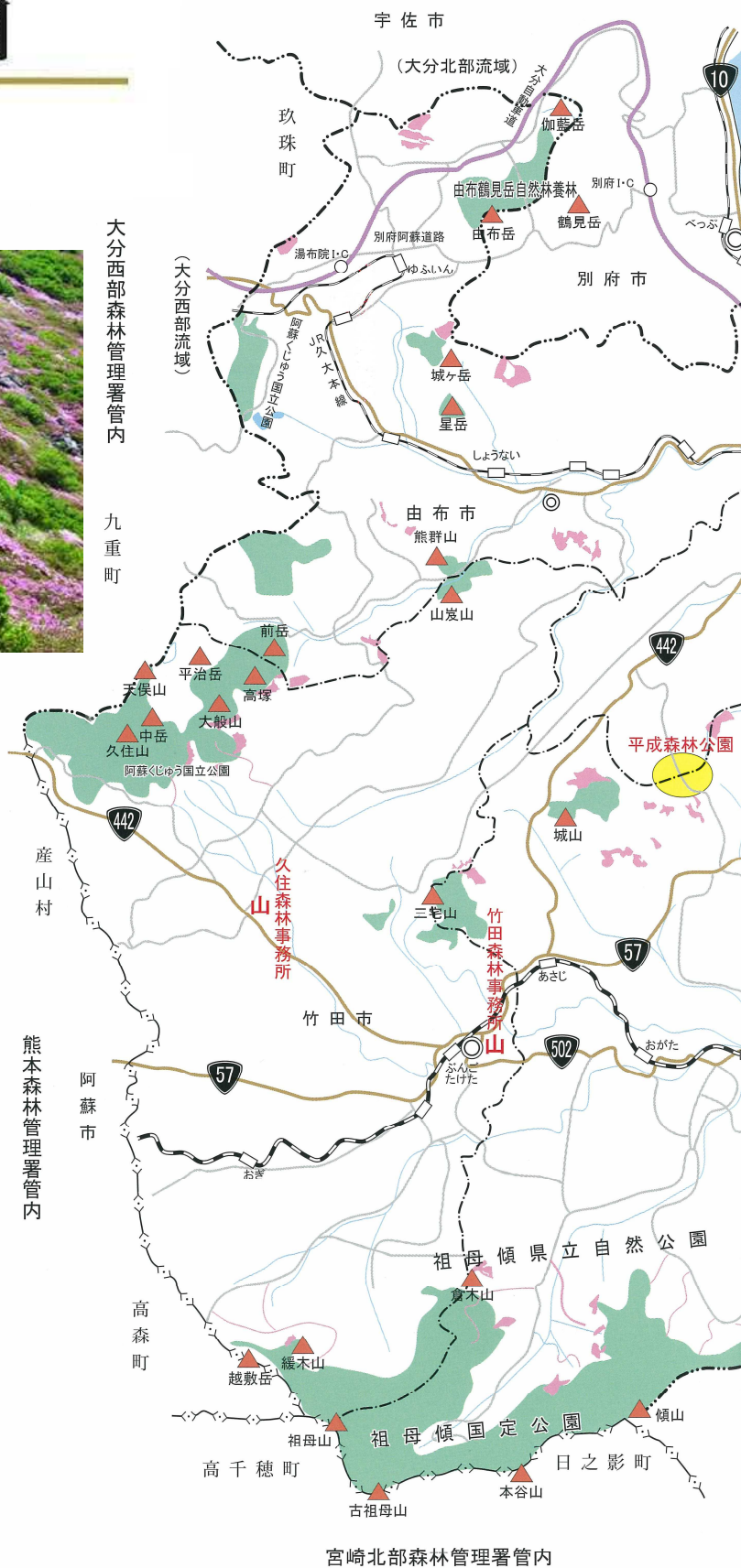
ミヤマキリシマ



コケモモ



ツクシドウダン





ヤマシャクヤク



ヒョドリバナ (蝶はアサギマダラ)



イワカガミ



ママコナ

凡 例	
山 岳	▲
河 川	—
県 界	—・—
流 域 界	—・—・—
市 町 村 界	—・—
国 有 林	■
官 行 造 林	■
市 役 所	◎
鉄 道	—+—+—+—
自 動 車 道	—
国 道	—
地 方 道	—
林 道	—
森林事務所	山



リンドウ



サイヨウシャジン



大分中部流域の概要

自然的・社会経済的背景

1 位置及び面積

大分中部流域は、大分県の中部に位置し、大分市、臼杵市、津久見市、由布市、竹田市、豊後大野市の6市からなる面積 227,204ha で、大分県総面積 633,982ha の 36%を占めています。そのうち森林面積は 150,083ha で、流域総面積の 66%を占めています。

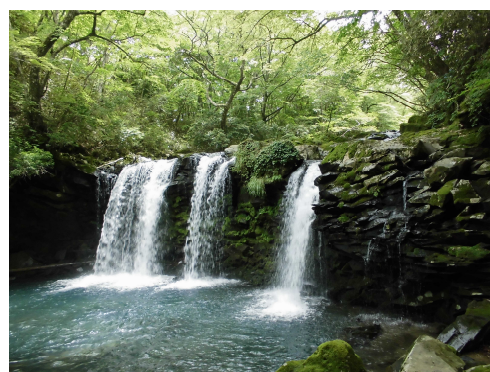
2 地勢

本流域の北部には豊後富士と呼ばれる由布岳(1,583m)がそびえており、湯布院盆地、くじゅう山系北部を源とする大分川が、庄内谷を東に流れ、芹川、七瀬川と合流しつつ大分市を経て別府湾に注いでいます。

西部には、九州本土最高峰の中岳(1,791m)、久住山(1,787m)、大船山(1,786m)、黒岳(1,756m)、星生山(1,764m)、三俣山(1,745m)等のくじゅう山系がそびえ、南部には祖母山(1,756m)、古祖母山(1,633m)、本谷山(1,643m)、傾山(1,602m)等の祖母傾山系が東西に横たわっています。くじゅう山系及び祖母傾山系に源を発する大野川は、奥岳川、緒方川、玉来川、稲葉川、垣河内川等の多くの支流を合流しつつ、本流域の中央を貫流し、大分市を経て別府湾に注いでいます。



久住山（久住山国有林）



坊ガツルの暮雨の滝（鉢久保国有林に隣接）

3 人口

人口は 634 千人で、大分県全体の 53%を占めています。

就業人口は 294 千人で、産業別内訳は第一次産業が 16 千人で 6%、第二次産業が 65 千人で 22%、第三次産業が 201 千人で 68%となっています。第一次産業の内訳は、農業が 14,623 人、林業が 503 人、水産業が 1,177 人となっています。（平成 25 年度大分県林業統計より）

4 交通網

交通網は、大分市を中心に鉄道・道路・航路が整備されています。JR 日豊本線、久大本線、豊肥本線がそれぞれ北九州、宮崎、久留米、熊本とつながり、幹線道路が国道 10 号線のほか、57 号、197 号、210 号、217 号、326 号、442 号線が各主要地域を結んでいます。更に、大分～鳥栖間に大分自動車道、大分～佐伯～宮崎間に東九州自動車道がつながっています。

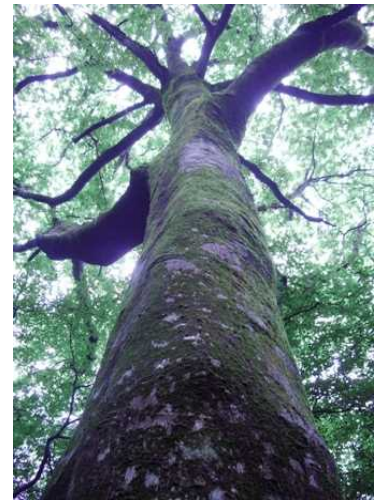
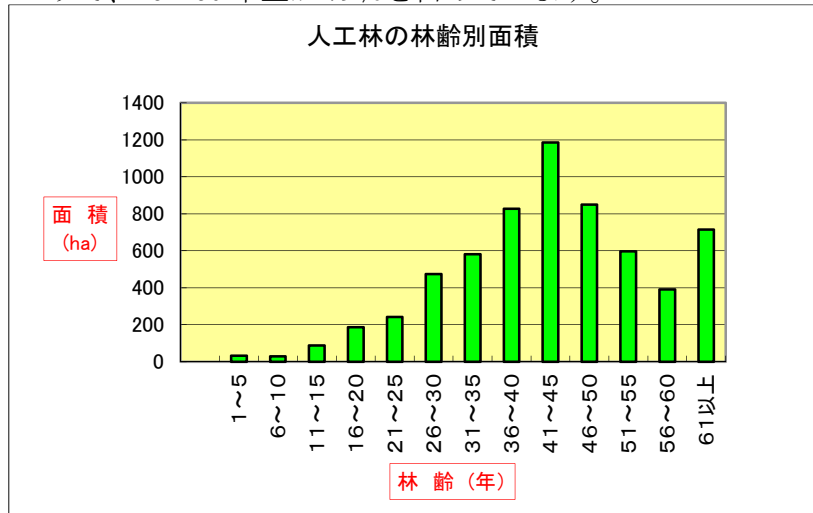


傾山（滞迫奥岳国有林）



国有林の概況

面積 国有林の面積は 15,617ha で、流域の森林面積の 11% を占めています。そのうち人工林面積は 6,197ha（人工林率 43%）、天然林面積は 8,311ha です。人工林の林齢別面積は下表のとおりで、26～60 年生が 79% を占めています。



黒岳国有林のブナ(天然林)

樹種 主な樹種は、人工林はスギ、ヒノキで、天然林はモミ、ツガ、アカマツ、ブナ、ケヤキ、ミズメ、ミズナラ、カエデ、カシ類、シイ類、タブノキです。

蓄積 立木の蓄積(体積)の概数は、人工林が 167 万 m³ (1 ha 当たり 270m³)、天然林が 157 万 m³ (1 ha 当たり 190m³)、合わせて 324 万 m³ (1 ha 当たり 220m³)です。



列状間伐後のヒノキ人工林

制限林 制限林（法律等により伐採等が制限されている森林）が 90% で、普通林（制限されていない森林）が 10% です。制限林はすべて保安林で、そのうち 89% は水源涵養保安林です。また、くじゅう連山及び由布岳（一部）は阿蘇くじゅう国立公園に指定され、祖母山から傾山にかけては祖母傾国定公園に指定されるとともに祖母山・傾山・大崩山森林生態系保護地域(注1)に指定されていて、保安林と重複して制限されています。

公有林野等官行造林地 上記のほかに公有林野等官行造林地(注2)が 1,457ha あり、スギ、ヒノキなどの人工林となっていて、立木蓄積が概数で 50 万 m³ (1 ha 当たり 340m³) あります。

(注1) 森林生態系保護地域は、保護林（貴重な森林を保護するために設定された区域）のひとつで、原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究等に資することを目的として、日本の主要な森林帯を代表する原生的天然林が 1,000ha 以上ある区域などが指定されています。

(注2) 公有林野等官行造林地は、市町村所有や共同利用等の林地に、契約によって国が造林しているところです。伐採時に販売代金を割合に応じて分収します。なお、この制度を定めた法律は昭和 36 年に廃止され、それ以前に契約したところが現存しています。



森林管理署の取組

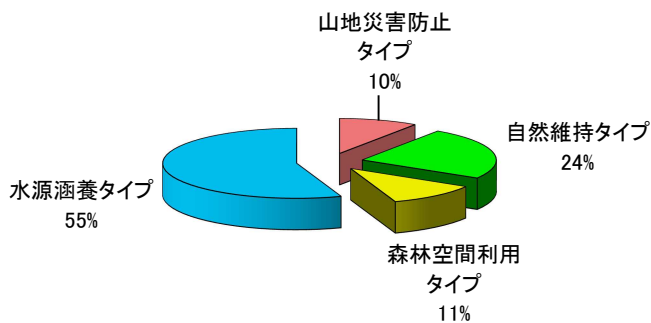
本流域の国有林は、大分森林管理署が管理経営しています。流域内を竹田、白山、臼杵、野津、久住、湯布院の担当区に区分して、竹田、臼杵、久住に森林事務所を設置し、竹田に地域統括森林官を、臼杵と久住に首席森林官を配置しています。森林官は、地域の方々からの問い合わせなどの対応や、国有林の管理経営に関する現場業務を担っています。

農林水産省 — 林野庁 — 九州森林管理局 — 大分森林管理署 — 森林事務所

1 公益重視の管理経営の一層の推進

国有林の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営を一層推進することとし、個々の国有林を重視すべき機能に応じて、「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」、「水源涵養タイプ」に区分し、公益林として適切な施業を推進することとしています。

本流域内国有林の機能類型別区分割合



森林空間利用タイプ（久住山国有林）

● 山地災害防止タイプ（1,488ha）

災害に強い国土基盤を形成する観点から、山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とする森林です。

● 自然維持タイプ（3,763ha）

生態系としての森林の重要性を踏まえた観点から、原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林です。

● 森林空間利用タイプ（1,714ha）

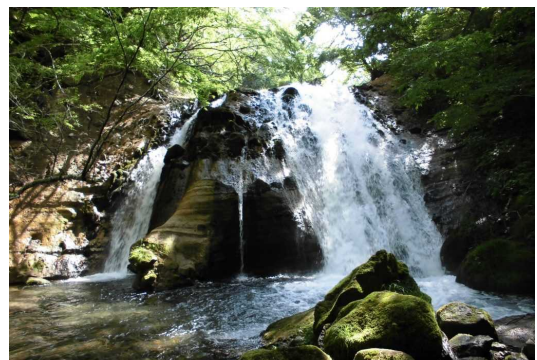
国民に憩いと学びの場を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致を構成する観点から、保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林です。

● 快適環境形成タイプ

騒音、粉塵等から地域の快適な生活環境を保全する観点から、快適環境形成機能の発揮を第一とする森林です。（本流域内は該当なし）

● 水源涵養タイプ（8,644ha）

良質な水の安定供給を確保する観点から、水源涵養機能の発揮を第一とする森林です。



黒岳の名水の滝（黒岳国有林に隣接）

2 森林・林業の再生に向けた貢献

民有林の関係者と連携して推進する森林の流域管理システムの下、流域林業活性化センター等の場を通じ、県、市町村等との密接な連携を図りながら、森林・林業の再生に貢献していくため、組織・技術力・資源を活用し、民有林の経営に対する支援等を積極的に取り組むこととしています。

具体的には、低コストで効率的な作業システムの普及や技術向上のための検討会を、県、市町村、森林組合、林業事業体等参加の下に開催しています。また、地域における施業集約化の取組を支援するため、民有林と連携することで事業の効率化や低コスト化が図られる区域については、協定を締結して森林共同施業団地を設定し、民有林と連携した路網の整備と相互利用の推進、計画的な間伐等の実施などに取り組んでいます。民有林も含めた間伐の推進に寄与できるようにするため、各種の間伐方法が比較検討できる間伐展示林を設定し、民有林関係者の研修の場等として提供もしています。更には、市町村の森林・林業行政の支援ができるようにするため、森林総合監理士（フォレストラー）等の育成も行っています。



森林作業道検討会の様子



間伐展示林での民有林関係者研修の様子

3 国民の森林（もり）としての管理経営

国民共通の財産である国有林を「国民の森林」と位置づけ、国民に開かれた管理経営を推進することとしています。

具体的には、森林・林業に関する情報提供や普及に努めるとともに、地域管理経営計画策定時等に国民の皆様の見解を伺っています。また、多様で豊かな自然環境等を活用しつつ、森林環境教育の推進、森林とのふれあいの場の提供、国民参加の森林づくり等の要請にお応えするようにしています。



親子で間伐体験の様子

4 地球温暖化防止対策の推進

地球温暖化は、温室効果ガスが原因で、その中でも二酸化炭素の増加が大きな原因であると言われています。森林は、空気中の二酸化炭素を吸収し、炭素として体の中に貯えることから、地球温暖化の防止に役立ちます。このため、二酸化炭素の吸収・固定に貢献する健全な森林の整備・保全や、木材利用等の推進に率先して取り組むこととしています。

5 生物多様性の保全

国有林は主に脊梁山地にあり、生物多様性の保全を図る上で重要な位置を占めていることから、生物多様性保全の役割も十分果たせるよう、森林の健全性を維持・確保していくこととしています。具体的には、原生的な森林生態系や希少な野生生物が成育・生息する森林については保護林に指定し、モニタリング調査等を行い、適切な保全・管理を推進しています。また、シカが農林業や生態系に多大な被害を与えているため、関係行政機関等と連携しつつ、捕獲による個体数調整や共存に向けた森林の整備を推進しています。



傾山の森林生態系保護地域(保護林)

6 地域の安全・安心の確保

自然災害によって発生した土砂の流出・崩壊などの復旧やその予防のため、治山ダム設置などの治山工事を行い、山地災害から生命・財産を守る取組を行っています。実施にあたっては、民有林の治山工事と連携するとより効果が発揮される地域については、民有林の治山工事を担当している大分県と連携して事業を実施しています。

なお、治山事業の詳細は、当署のホームページの「治山事業の概要」に掲載しています。



由布岳の治山工事の遠景 由布岳の北側斜面では、山頂付近から山腹にかけて約30haに及ぶ大規模な崩壊地があることから、大正4年から治山工事を実施しています。国有林の下方の民有林まで土砂が流出していることから、大分県と連携して事業を実施しています。

大 分 市

大分市の国有林

大分市内の国有林は 559ha で、公有林野等官行造林地が 63ha です（合計 622ha）。国有林の機能類型別区分割合は、山地災害防止タイプ 5%、水源涵養タイプ 95%です。この国有林と官行造林地を白杵森林事務所が担当しています。



大分森林管理署

森林管理署の取組

大分森林管理署は、大分市王子北町にあり、正門前の職員手作りのログハウス「森の恵館」では、国有林からのお知らせのパンフレットなどを置いて、市民と国有林とのふれあいの場としています。また、市民に木製品に親しんでもらうため、親子による木製椅子作りなども行っています。

御座ヶ岳の近くの国有林では、地拵・植付・下刈作業の低コスト化を目的として、ヒノキのコンテナ苗を用いて植付を実施しました。

九六位山の国有林では、道路沿いに不法投棄物があったことから、ボランティアと一緒にクリーン活動（不法投棄物の回収作業）を実施しました。



コンテナ苗の植付け



親子で木製椅子作り



クリーン活動

由 布 市

由布市の国有林

由布市内の国有林は 2,278ha で、公有林野等官行造林地が 414ha です（合計 2,692ha）。

国有林の機能類型別区分割合は、山地災害防止タイプ 20%、自然維持タイプ 2%、森林空間利用タイプ 23%、水源涵養タイプ 55%です。

この国有林と官行造林地を久住森林事務所が担当しています。



湯布院から望む由布岳



森林管理署の取組

由布岳の国有林は、「由布鶴見岳自然休養林」に指定されていて、登山などの森林レクリエーションの場として多くの人に利用されています。大規模な崩壊地がある北側斜面では、下流域を災害から守るため大正4年から治山工事を行っています。高原部ではシカが大きな被害を与えているため、市、猟友会等と連携して追い込み式によるシカ捕獲にも取り組んでいます。

星岳の国有林では、民有林の間伐の推進にも寄与できるようにするため、流域林業活性化センターと連携して「間伐展示林」を設定し、民有林関係者の研修の場として提供しています。

やまなみハイウェイ沿いの国有林に設定している「ふれあいの森」においては、協定相手方のNPO法人が自主的な森林整備活動を行い、国民参加の森林づくりに取り組んでいます。

阿蘇野の立石国有林では、労農市民団体と契約した分収造林において、契約相手方との協働により、関係市民に対して林業体験の指導等を行っています。



シカ追い込み捕獲用ネット設置



由布岳山開き



市民の間伐調査体験

臼杵市

臼杵市の国有林

臼杵市内の国有林は 1,565ha で、公有林野等官行造林地が 100ha です（合計 1,665ha）。

国有林の機能類型別区分割合は、山地災害防止タイプ 10 %、自然維持タイプ 1%、森林空間利用タイプ 1%、水源涵養タイプ 88%です。この国有林と官行造林地を臼杵森林事務所が担当しています。



植山国有林からの臼杵市内の展望



森林管理署の取組

鎮南山(536m)は、登山ルートから臼杵市内や臼杵湾を展望できることから、臼杵市民に親しまれ、多くの登山者が訪れます。登山ルートには植山国有林があり、「森林空間利用タイプ」又は「山地災害防止タイプ」に区分して管理しています。

野津ダムの上流部に位置する冠岳の国有林は、市民生活に欠かせない水瓶の源流部となっていることから、「水源涵養タイプ」又は「山地災害防止タイプ」に区分して長伐期施業を行っています。

臼杵市内の国有林の 70%は人工林で、その大部分は 26～60 年生であるため、列状間伐・路網・高性能林業機械を組合せ、低コストで効率的な作業システムによる間伐を推進しています。



列状間伐後



高性能林業機械による間伐作業



中学校分収林

豊後大野市

豊後大野市の国有林

豊後大野市内の国有林は 6,543ha で、公有林野等官行造林地が 688ha です（合計 7,231ha）。

国有林の機能類型別区分割合は、山地災害防止タイプ 9%、自然維持タイプ 35%、森林空間利用タイプ 1%、水源涵養タイプ 55%です。

この国有林と官行造林地を竹田と臼杵の森林事務所が担当しています。



尾平から望む祖母山



森林管理署の取組

祖母・傾山系の稜線付近は、原生的な天然林であることから、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究等に資することを目的として、保護林の一つである「森林生態系保護地域」に指定し、その保存を行っています。その地域内である傾山の稜線でも、シカの食害によって下層植生がほぼ無くなるほどの被害や上層木の剥皮被害が発生していることから、下層植生の回復とブナなどの上層木の保護のため、獣害防止ネットを設置するとともに、ワナを利用した個体数調整にも取り組んでいます。

祖母山への登山コースである尾平登山道沿いは、九州では数少ない典型的な垂直分布が見られることから「祖母山風景林」に指定しています。その中には、「森林浴の森百選」や「豊の国名水15選」にも選ばれている川上溪谷があり、原生林を縫うように流れる清流沿いで森林浴を楽しむことができます。



祖母山風景林



傾山から笠松山、本谷山、祖母山の展望



山稜線の獣害防止ネット設置箇所

竹 田 市

竹田市の国有林

竹田市内の国有林は 4,672ha で、公有林野等官行造林地が 193ha です（合計 4,865ha）。国有林の機能類型別区分割合は、自然災害防止タイプ 4%、自然維持タイプ 31%、森林空間利用タイプ 25%、水源涵養タイプ 40%です。この国有林と官行造林地を竹田と久住の森林事務所が担当しています。



久住山のミヤマキリシマ



森林管理署の取組

竹田市内の国有林には、阿蘇くじゅう国立公園に指定されている九州本土最高峰の中岳や主峰の久住山などが連なる「くじゅう連山」があり、また、祖母傾国定公園に指定されている祖母山もあり、雄大な景観やミヤマキリシマなどの高山植物に惹かれ、大変多くの登山者が訪れます。登山者の中には登山道以外へ立ち入る人もいて、高山植物の踏み荒らし跡があることから、森林保護員を雇用してパトロールを行い、登山者への登山ルール・マナーの呼びかけや、登山道沿いに立入規制のロープ柵設置なども行っています。

また、竹田市内の国有林では、シカによる食害・剥皮害が多発していることから、シカの個体数を適正頭数に調整するため、くくり罠による捕獲にも取り組んでいます。



登山道沿いにロープ柵設置



くじゅう山麓の紅葉



久住山の登山者(山開き時)

大分中部流域の国有林のデータ

1 計画事業量（平成 24～28 年度までの 5 年間分）

伐 採	区 分	主 伐	間 伐	計		
	数 量 (m³) (ha)	6 5,0 0 0	1 9 1,5 0 0 (2,0 1 3)	2 5 6,5 0 0		

更 新	区 分	人工造林	天然更新	計		
	数 量 (ha)	1 3 8	5 3	1 9 1		

保 育	区 分	下刈	つる切	除伐	ぼう芽整理	計
	数量 (ha)	1 7 8	3 4	7 4	1	2 8 7

林 道 (林業専用道 を含む)	区 分	開 設		改 良	
		路線数	延 長(m)	路線数	延 長(m)
	数 量	1 3	1 9,8 5 0	1 6	6,4 4 0

治 山	区 分	保安林整備 (ha)	保 全 施 設 (箇所)
	数 量	6 0 0	4 6

2 自然公園

種 類	区 分	面 積(ha)
国立公園 (阿蘇くじゅう)	特別保護地区	7 7 1
	第一種特別地域	1,2 9 1
	第二種特別地域	5 1 5
	第三種特別地域	7 8 4
	普通地区	8 2
	計	3,4 4 3
国定公園 (祖母傾) (日豊海岸)	特別保護地区	5 7 9
	第一種特別地域	5 2 8
	第二種特別地域	7 2
	第三種特別地域	4,3 9 7
	計	5,5 7 6
県立公園 (祖母傾)	普通地域	1,7 9 1
	計	1,7 9 1
合 計		1 0,8 1 0



中岳からの展望（阿蘇くじゅう国立公園）



祖母山（祖母傾国定公園）

3 森林レクリエーションの森

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置	特 徴
自然休養林	由布鶴見岳	1 3 6	由布岳 (北斜面を除く)	由布岳は豊後富士とも呼ばれ、展望がすばらしく、ミヤマキリシマや広葉樹林の新緑・紅葉など四季折々の変化に富む自然景観の特色を備えており、登山、ハイキング、自然探勝などに利用されています。
風景林	くじゅう山	1,357	久住山、稲星山、大船山の中腹部と、杓掛山、扇ヶ鼻、黒岳の一带	阿蘇くじゅう国立公園内にあって、原始的な広葉樹林やミヤマキリシマ等の高山植物の群落があり、展望、四季折々に変化する山容、溪谷の美にも優れており、年間約30万人の登山者に利用されています。
	祖母山	29	尾平から祖母山への登山道沿い	祖母山の峻厳な山容に包まれ、モミ、ツガを主とする針広混交天然林を有し、随所に明澄の溪谷が現れるなど、異色の景観を呈しており、登山やハイキングの場として親しまれています。

4 保護林

種 類	名 称	面積 (ha)	位 置	指 定 理 由
森林生態系 保護地域	祖母山・傾山・大崩山周辺	2,321	祖母山から傾山までの稜線付近	標高1,000m以上の山地帯には、太平洋岸気候の冷温帯気候の極相であるブナ林がみられ、標高700～1,000m付近にはアラカシ、ウラジロガシ等の常緑広葉樹林がみられます。 原始的な天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術参考などに役立てるとともに、これらの森林を後世に引き継ぐため。
林木遺伝資源 保存林	坊ガツル	8	暮雨の滝の隣接地	サワグルミ、ミズメ、ハリギリの遺伝資源保存のため。
	黒岳	11	黒岳の南東斜面	ミズメ、ブナ、アカガシ、ハリギリ、ヤマザクラ、イタヤカエデの遺伝資源保存のため。
植物群落保 護林	大石櫓山	18	倉木山の北東斜面	常緑広葉樹林帯の上限付近に成立する大分県のミヤマシキミ、アカガシ群集の中では、最大の群集であり、特定植物群落に指定されているため。また、豊後大野市の天然記念物にも指定されているため。

祖母山の花々



ツクシシャクナゲ



ツクシアケボノツツジと祖母山

局・署・森林事務所の所在地等

名 称	所 在 地	電話番号等	
九州森林管理局	〒860-0081 熊本市西区京町本丁2番7号	電話	096-328-3500
		FAX	096-355-3891
大分森林管理署	〒870-0005 大分市王子北町3-46	電話	097-532-9281
		FAX	097-532-2357
竹田森林事務所	〒878-0011 竹田市大字会々字七里2049	電話	0974 - 63 - 3120
		FAX	同上
臼杵森林事務所	〒875-0052 臼杵市大字市浜370-12	電話	0972 - 62 - 2772
		FAX	同上
久住森林事務所	〒878-0201 竹田市久住町大字久住6435-2	電話	0974 - 76 - 0035
		FAX	同上



キレンゲショウマ



オオヤマレンゲ



ウバタケニンジン



タマガワホトトギス



トサノミツバツツジ